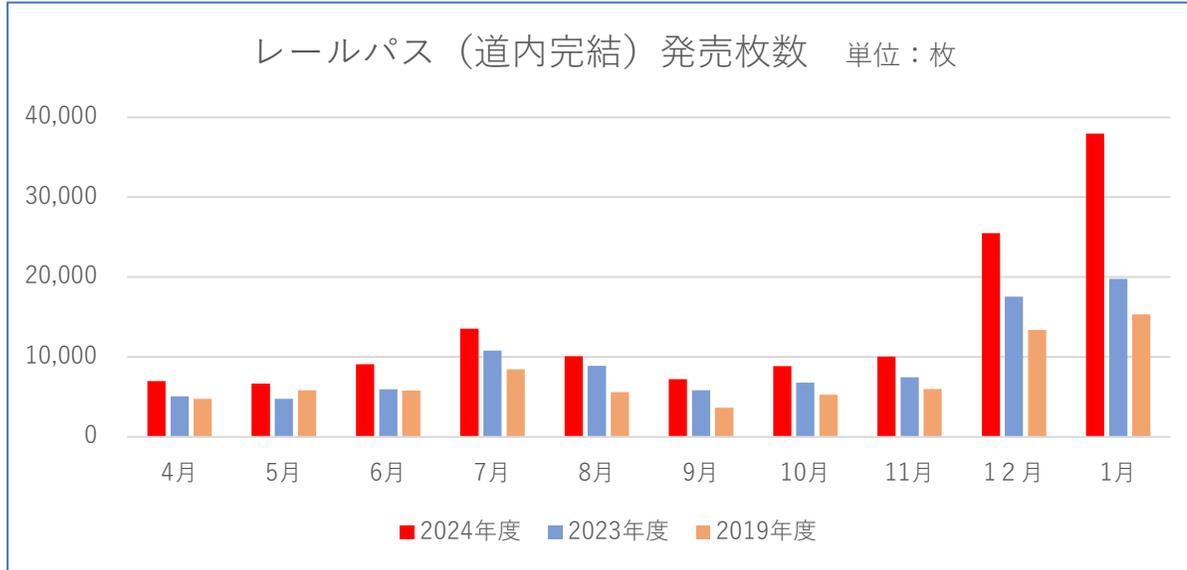


# インバウンドの増加と対応について

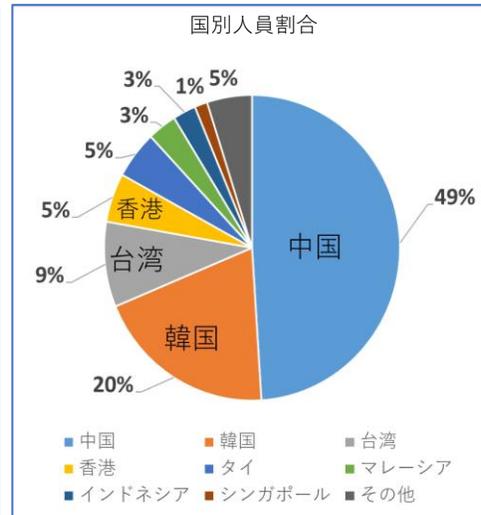
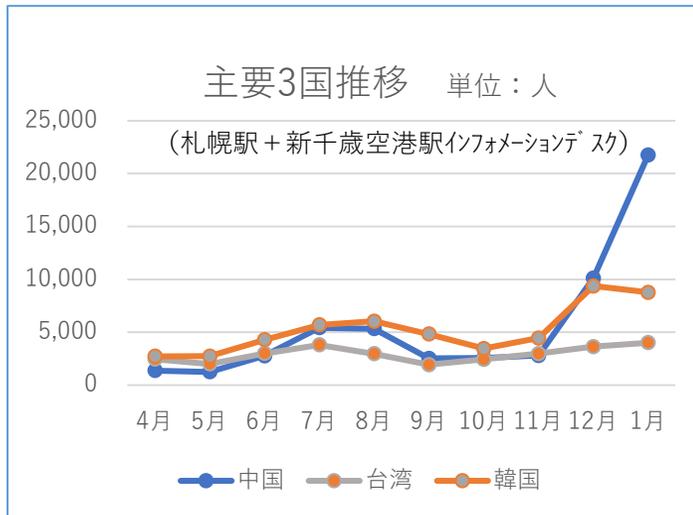
## 1. インバウンド向けレールパス（道内完結）の発売実績と傾向について



○12月以降、新千歳空港発着の国際線の便数増加（主に中国、東南アジア）、円安の影響を受けて、12月、1月のレールパス（道内完結）は枚数・金額ともに過去最高の売り上げを記録した。

○特に中国の伸びが大きく、札幌、新千歳空港駅インフォメーションデスクの来店客数（1月）は中国が半数を占めた。

※1月の中国の戻りは前年297%、平年の125%



○「札幌-富良野エリアパス」の増加が著しく（枚数：前年比235%）、夏のラベンダーシーズンを上回り、新たなトレンドが生まれている。 ※1月は7月の207%

※JNTOの発表によると、12月の訪日外客数は3,489,800人で、前年同月比では27.6%増、2019年同月比では38.1%増と単月過去最高を記録。

# インバウンドの増加と対応について

## 2. 今冬期の主な駅のインバウンドの動向と傾向

### ◆札幌近郊

- 新千歳空港駅や札幌駅のインフォメーションデスクでレールパス引換旅客が急増
- 札幌駅の券売機およびホーム（小樽方面、旭川方面が中心）の混雑
- 小樽駅のみならず、南小樽駅を利用するインバウンドの増加
- 札幌圏12～1月の小雪の影響で、雪を求め岩見沢・美唄等に多くのインバウンドが訪問  
（美唄スノーランドでの雪遊びを目的としたインバウンドが増加）
- 朝里駅・銭函駅でも多くの外国人が海岸で写真を撮るために訪問

### ◆札幌近郊以外

- 登別に加え、洞爺駅にも多くの外国人が訪問
- 富良野線および美瑛駅、美馬牛駅の混雑  
（クリスマスツリーの木の撮影を目的に美馬牛駅から30分をかけて徒歩移動）



新千歳空港インフォメーションデスク



札幌駅ホーム  
(小樽行快速エアポート)



登別駅  
(駅舎からあふれるインバウンド旅客)



美瑛駅（旭川行き列車待ちの様子）

# インバウンドの増加と対応について

## 3. 対策

～急増したインバウンド対応のため、通訳スタッフや安全確保の警備員を増強。掲示物・放送の強化を実施。

### ◆ソフト面の対策

○主要駅通訳案内スタッフの増強（9駅）

（札幌駅、新千歳空港駅、南千歳駅、登別駅、洞爺駅、倶知安駅、富良野駅、美瑛駅、旭川駅）

○ホーム警備員の配置、増強（9駅）

（札幌駅、新千歳空港駅、朝里駅、銭函駅、美瑛駅、美馬牛駅、小樽駅、登別駅）

### ◆ハード面の対策

○1/23の朝里駅触車死亡事故を受けた注意看板増設、注意喚起のポスター、車内・駅放送の拡大

（北海道庁や札幌市とも連携強化）

○富良野線普通列車の車両増結対応

○函館本線普通列車（倶知安方面）の車両増結対応

○倶知安駅にクレジットカード対応の券売機を設置



美馬牛駅 警備



登別駅 通訳

# インバウンドの増加と対応について

## 4. 1月23日発生の朝里駅触車死亡事故を受けた取り組み

- 朝里駅隣接の2か所の踏切に多言語注意看板を更新取替・増設
- 警備員の1名増員、多言語の車内放送による注意喚起、グローバルサイトでの注意喚起
- 注意喚起ポスター作成、札幌市観光案内所でのポスター掲出（北海道庁や札幌市とも連携強化）

【既設看板を更新取替・増設】

(既存の看板)



①-2 朝里駅 小樽方踏切  
W900mm×H1,400mm



【注意喚起ポスターと掲出の様子】



札幌市観光案内所でのポスター掲出

- ・ピクトグラムを拡大
- ・より強い注意喚起の表現へ「死亡する可能性」→「死亡事故発生」へ  
「立入禁止」→「嚴禁」へ
- ・「線路内立入嚴禁」にはさらに「違法」である旨も追記